コロナ対策委員会報告　〈放課の対応強化　２／１３まで〉

Ｒ４．２．１

前回のコロナ対策委員会では特に「児童間の距離」についての指導をお願いしました。児童の様子を見ていると、マスクはしているものの、特に放課中や掃除など、目の届きにくいところで密になりがちです。また、長期のコロナ禍による「疲れ」や「慣れ」もあるかと思います。子どもたちも辛いところではありますが、現状を乗りきるために今一度頑張りましょう。

以下は、２月１３日（登校は２月１０日金曜日）までの制限とします。

①　放課の過ごし方について

・　現在は、日替わりで運動場を使用している。教室で過ごすときのルールとして、基本的に「自分の席で、読書や自由帳、折り紙などをして静かに過ごす」こととする。また、前回のときのように、「読書タイムでは許可していない、ぬり絵や図鑑、占いの本など」も OK とする。

・　委員会活動は続行する。図書室についてはさほど混み合ってはいないが、雨天時など密になっていないか、大きな声を上げていないか、気をつけて見ていく。

・　放課時のタブレットは、担任指導の下、授業内でできなかった分の延長として使用するのは可。自由な使用は、担任が在室であってもしない。

※　以上のルールについては、２／１（火）５限、校内放送で一斉に伝えることにより全校で共有する。タブレット使用のルールは担任が把握しておく。

②　授業について

・　児童が集まる話し合い活動はしない。

・　体育時（特にゲーム時）はマスクの着用と大声なしを徹底する。息が激しくあがる運動はできるだけ避けるが、マスクを外す場合は十分な距離をとり、外したままで話をしないよう伝える。

③　その他

・　特に低学年で、マスクが下がってしまう子がいる。鼻と口を出さないマスクの付け方指導と、手洗い・消毒の呼びかけをする。